



企業内大学設立へ

三光設備工業（☎06・6953・0265）は、来年創業70周年の記念事業として今年9月から企業内大学設立を目指し、社員教育に一段と力を入れる。若い社員を対象に仕事だけでなく健康な



三光設備工業

対象は10-20歳代の若手社員で10数人を計画。社内外の専門

家を講師に技術、知識、安全など仕事の理解を深め、健康や心の問題などをテーマにカリキュラムを計画。AIの多彩な活用なども考える。

「福利厚生も強化し会社の魅力を高めます」と田原社長。7月から社員向けに全額会社負担の医療

保険に加入、今年から年間休日を中小企業では

珍しい130日に引き上げた。

企業内大学はオンデマンド方式で社員が仕事の合間を活用して授業が受けられる。「社員も講師になります。大学開講で社員がレベルアップ、採用強化と社員教育で会社力を高めたい」と期待している。

材採用に繋げたい考え。

大阪市都島区内代町1丁目に本社を置く。マンション工事をメインに空気調和、衛生設備工事を行う。検査アプリ、3DCADをいち早く導入、DX化にも取り組む。

大手ゼネコンから熱い信頼を得ており、長期にわたり黒字の安定経営を進める。た

だ、課題は人材の確保。「現場施工管理部門では若い人の応募がゼロの状況が続いています」と、田原聡社長は嘆く。

従業員は31人。年商13億4000万円で、自由度の高い明るい雰囲気ของบริษัทだ。「70周年を機に人材採用、若手社員教育に積極的に投資したい」とし、中小企業で珍しい企業内大学の設立を準備する。

**今後の
若手人材採用
に繋げる**

社員教育の一環で多彩な内容